

JAXA の山浦室長が資料 10-2(「きぼう」有償利用・選定結果)を 10 分余で説明した後、10 分余の質疑応答があった。(冒頭、無事「きぼう」の第一便が打ち上がり、長年の準備が実ったことの報告とお礼があった。「きぼう」の有償利用については、各方面からの期待の声も強く、一年目から取組を開始することにし、5 件の応募の中から 3 件を選定した。内容については、企業の利益に関わる問題から、詳細な情報は適宜進捗に併せて公表することになる。今回の 3 件は、夫々非公表、題名のみ、一行だけの説明であった。)(青江委員が応募した各社の動機を知りたいと質問し、会場に居合わせた 2 社の代表が所感を述べた。)

野本: 落ちた二つは、最初の段階で落ちたのか、それとも宇宙飛行士の時間を取り過ぎるから駄目と云う事になったのか、其の二つのテーマはどう云う処で落ちたんでしょうか。

JAXA 山浦: 一次評価は全て通過致しました。二次評価で一寸、ざっくばらんに申しまして、外部有識者の方から、少し提案者の意図を確認してくださいと。不合格では無いんですけども、確認してくださいと云う事で、条件頂きまして確認させて頂いた処、まあ、一寸其の有識者の方の、何と言いましょうか、まあ、お考えと合わない部分御座いまして、残念ながら其処については、先方が、評価指摘された事に対してアジャストしようとする、主旨が一寸違うと云う事で、残念ながら今回は見送るけれども、今後引き続きこう云った活動に、注目してやって行きたいとお答頂いています。それからもう一つは、詳細はあれですけども、ざっくばらんに

【議事(2)】平成 20 年度「きぼう」有償利用テーマの選定結果について
申しますと、宇宙飛行士の時間の処が非常に難しかったですね。と云う事でリソースの関係で御座います。次回は、補足致しますけれども、また平成 21 年度の公募はもう少し早いタイミングで、「きぼう」の船内実験室が上がりまして、まあ、様子を見てから出したいと思しますので、もう少しゆとり御座いますし、それからクルーの時間ももう少し出来ると思しますので、更により多くのテーマを此方で選ぶことが可能ではないかなと思って御座います。

野本: あの、答えられ無ければ良いんですけども、因みに有償の値段はいくら位に、勿論手間が掛るものと掛からないもので値段は違うんだと思うんですけども、此れから何処かの企業の方が応募する時、此れ位と云う目安になる様な金額と云うのは、有るんでしょうか。あの、言えればと云う事で。

JAXA 山浦: あのー、JAXA が頂きますお金には二つ御座います。一つは、もう兎に角此の実験を組上げて、我々は持って来て下さいと。ですので、もう、右から左に出来る様な形にしてお持ち下さいと云うのが此の仕組みで御座います。但し、其れを全体の「きぼう」の中で行う全体の実験として組上げる時に、どうしても我々として行わなければいけないのが、大きく二つ御座いまして、一つが安全であることを確認すると。ああ、三つですね。宇宙飛行士の手順が此れで大丈夫なのかと。それから三つ目が全体のリソースの配分の中で、こう、上手くアジャストして行く作業は、ホントにギリギリ迄行います。まあ、そう云った、我々としてどうしても、

我々でなければ出来ない部分、これは実費で頂きます。ですので、時間かける我々の人件費を頂くと。で、これにつきましては、今日の時点は一寸未だ最終的に詰めた数字と云うのはタイミング的に申し上げられませんが、これについて我々は JAXA としての仕事の範囲ですので、我々としてはお話し出来ると云う事は、起業の方の了解も頂いて居りますので、其処はもう我々として大丈夫だと思います。で、二つ目のお金の仕組みの中で、企業が価値をどう云う風に考えられて、提案価格とされたかと云うのが、実は最終選定の我々の基準の部分のお金なんです。これは皆様方此れ絶対に、自分たちの、まあ、そう云ったものであると云う事で、ご自身が其れを仰る事は我々としては一切構いませんが、我々から申し上げると云うのは、一寸守秘義務って言いましょうか、皆様がたの御都合と云う事で我々としては出来ないと云うのが、此の仕組みの中で明確になって御座います。

森尾:平成 20 年度分についてはそうすると未だ、多少作業時間とか輸送すべき物資の量とかについては余裕があると云う?

JAXA 山浦:あの一、もう御座いません。此れでお互いに、契約書にどう云う数字を書き込むかと云う処までは、もう明確になって御座いますので、あとは手続き的にまだ必要な部分御座いますが、実際にはリソースに関しては完全にもう我々としては此れでやりましょうと云う事でフィックスさせて頂いてます。例えば、何キログラムとか何十分とかそう云うオーダ

【議事(2)】平成 20 年度「きぼう」有償利用テーマの選定結果についてで明確にして御座います。

森尾:恐らく此れ、先程のご説明だと、21 年度については、ええと、20 年度がまあ暮に募集された訳ですけど、21 年度分は、今年の暮れより一寸早いタイミングで。

JAXA 山浦:そうですね、例えば、そうですね、夏とか、まあ、秋口とか、一寸其処は未だ此れから御座いますけれども、はい。

森尾:其れはあの一、51 年度利用期間で云うと、平成 22 年 3 月迄ですけど、それまでに終わる様なものを募集するって云う。

JAXA 山浦:はい、そうで御座います。

森尾:もっと時間の掛るものは駄目って事ですか。

JAXA 山浦:22 年度からはですね、正に我々此れまでやって参りましたユーザの方とのコーディネーションと言うと一寸違いますね、こう、リソースを取りまとめて、アジャストする、で、有償利用の部分で最適化を図る様な、そんな我々の仕事は、民間の方にやって頂きたいなと云う風に思って御座いますので、其のフェーズになりましたら、もっと自由に何年先までもとか、まあ、何年掛かりとか、色んなバリエーション有ると思いますので、其れは寧ろやって頂くべきじゃないかと思いますが。我々がやる範囲と云うのが 21 年度までと云う事ですので、もう一回トライアルさせて頂いて、より良い仕組み作りの中で見えて来るものが有ると思って御座いますので、やらせて頂きたいと思います。

青江:私は、もう、正に、あれなんですけれども、こんな 5 つも手を

上げて来てくれる人が居ると思わなかったんですがね。大変結構な事じゃないかと思うんですが。それど、関係者の方、後ろに来ておられる？若し、此れも、あの、あれならばって云う事で結構なんです、此れで何にバリュー、多分結構な費用が掛るんだと思うんですが、夫々の処にね。其れで以て、何にバリューを感じられて、「さあやって見ようじゃないか」と言って皆さん、こう、以て、今頑張っておられるのかって言いましょうかね。それで、今後有償利用と云うものをもっと活発にさせるに当たっては、その、正に今度申請なされた方のあれとしては、まあ、「此処ら辺はチャンとして貰った方が良いでしょう」とでも言いましょうか、直した方が良いでしょうと云う様な事があれば、一寸教えといて頂きたいと。どなたでも結構なんです。

ロツテ 関：株式会社ロツテの関で御座います。この度 JAXA さんの方に選定して頂いてホントに有り難く思っています。今回私もロツテ・キシリトールプロジェクト、まあ、ミッションと云う事で、実はキシリトールと云うチューインガムで御座いますが、虫歯を防ぐと、まあ、虫歯を予防すると云う様な、そう云う新しい機能性を持ったチューインガムとして 1997 年からやらせて頂いて居ります。で、我々お菓子会社で御座いますので、非常にその、大きな夢をお客様と共有したいと云う事が御座いまして、最初は、ざっくばらんに、ホントに夢みたいな話なんです、此れから宇宙ステーションで長い間宇宙飛行士の方々が生活される。其の時にキシリトールガムと云うのが、宇宙飛行士の方々の歯の健康に寄

【議事(2)】平成 20 年度「きぼう」有償利用テーマの選定結果について
与できるんじゃないかと云う様な大きな夢も持ちまして、まあ、あのー、弊社今、キシリトール、グローバルに日本、韓国、インドネシア、タイと云う風に広げて御座いますので、其の時に世界の方々の歯の健康みたいなものを、地球の外側から見れる様な、そんな事が出来たら良いなと、まあ、お菓子の夢と、今回宇宙の大きな夢と云った処で、まあ、是非ご一緒にやらせて頂けないかと云う事で応募させて頂いた次第で御座います。

青江：社長まで上がってるんですか。

ロツテ 関：はい。勿論弊社はですね、重光社長にプレゼンテーションさせて頂きまして、アシリ(?)無しで、

青江：あの、重光さんが自らプレゼンテーションされたんですか。

ロツテ 関：ああ、私どもが重光に、「これはやりたいんだけど、お金出して欲しい。」と云う事で申しあげました処、「非常に良い。」と、「是非、未来永劫、此れからもっともお菓子の可能性が広がる様に協力してけ。」と、云う事で、まあ、ハンコ貰いまして、こう云う運びになりました。

松尾：もう一社居らっしゃいます。

リバネス 丸：株式会社リバネスの丸と申します。ええと、私、社長で御座いますので、其のまま。私どものやってる事と云うのが、最先端の科学の教育授業を小学校、中学校、高校に出前実験と云う形でやってたんです。元々バイオですとか環境ですとか、農業関係のものをやってたんですけれども、此れから有人飛行と云う事で、宇宙に人が住むって云う事になると、まあ、もっとも国民を巻き込んだ形の何か出

来ないかなって云うので、今回教育ミッションを、我々中心に何かやっ行って行こうかなと云う事で、最先端の科学の粋を集めるって云う事を、まあ、広く知って貰うと云う処に凄くバリューを感じて、私どもベンチャー企業では御座いますけれども、手を上げて見ようかなと云う、まあ、チャレンジスピリッツでやって居ります。まあ、成功するかどうか未だ分かんないんですけども、まあ、沢山の人間と、此の宇宙について考えられる時間て云うのを作って行きたいと思って、此れをやっ行って行きますので、どうぞ宜しくお願いします。

松尾: どうも有難う御座いました。あとは何か御座いますか。この選考委員会の大きさ、どれ位です。

JAXA 山浦: ええ、全員外部の方でして、両手位は、そんなに沢山おられません。まあ、片手か、もう一寸位ですね。はい。で、此処の在り方も、もう少し今後、我々としてですね。まあ、大体適正かなと、一桁の、まあ、真ん中で御座いますけれども、色んな分野の方にお入り頂いて、色んな視点で見て頂きましたので、まあ、若し別の視点が必要とあらば増やさせて頂くと云う風に思いますけれども、バランス的には非常に、法律も御座いますし、まあ、教育とかですね、はい、色々チザイ(?)とが御座いまして。あの、一寸、実は、まあ、色々此れ利害関係が入りますので、お名前は伏せさせて頂くと云う事でご了解を、実は頂いて御座います。

松尾: あと何か御座いますか? よう御座いますか。どうも有難う御座いました。

JAXA 山浦: どうも有難う御座いました。